

2024年第1回区議会定例会報告

健全な財政力を活かし

就学援助の拡充・介護職員の処遇改善を

保坂区政4期目に入って初となる予算は、震災から区民の命を守り、子ども・若者の教育費応援、生活困窮者対策の観点が反映されています。日本共産党世田谷区議団は、一般会計に賛成しました。

健全な区の財政力を生かし更なる区民の福祉の増進に取り組むことを求めました。

給食費の無償化から教育の無償化へ

来年度予算で、給食費無償の継続やアレルギーなどの理由により弁当を持参している子どもへの給食費相当額の支給、「学びの多様化学校（不登校特例校）」での給食開始、区負担で給食費単価を+18%増額などが実現しました。

23区全てで給食費の無償化が実現する中、他区では国立・私立の小中学生への拡充や学用品費の無償化など教育の無償化に向けた取り組みが始まっています。

就学援助の支援対象の拡充を

～区長部局と連携しながら検討する～

現状、学用品費や新入学用品費等については、「就学援助」で所得制限を設け支援を行っています。世田谷区は、所得基準を生活保護基準の1.4倍へと拡充され東京都でトップクラスです。

しかし、生活保護基準はこの物価高騰にもかかわらず引き上げられていません。

今議会で私は、子どもが経済的な理由で、学用品を揃えられないということのないよう、また、教育の無償化に向けた取り組みとして、就学援助の対象範囲を拡充することを求めました。

区は「財政負担が課題。社会全体で子育て支援をしていくという視点を踏まえ、区長部局とも連携しながら検討する」と答弁しました。

教育の無償化は、本来であれば国が責任を持って進めるべきものです。今後、党として国に対する働きかけを行うとともに、区独自の取り組みを求めていきます。

介護職員不足解消は喫緊の課題です

東京都は、勤続年数5年以内の介護職員に2万円、5年以上の職員に1万円「居住支援特別手当」を支給していますが、国が行う月6,000円の処遇改善策と合わせても、他の職種との7万円の賃金格差を解消することはできません。

抜本的には介護報酬の改定と合わせ、介護保険への国の補助割合をひき上げるなど、制度改善が必要です。

区長～「介護サービスをバックアップする意味で待遇改善に今後も取り組む」と答弁

今議会では、多額の財政負担が課題と言われている介護職員の処遇改善にどう取り組むのか、区長に質しました。

区長は、「介護職員の待遇改善は必須。（国が訪問介護の報酬を引き下げることにより）訪問介護が存続し得なくなるかもしれないギリギリのところに来ている。・・・区民の暮らしの生命線である介護サービスをしっかりバックアップする意味で働く皆さんの待遇を上げていくことも大きな課題として今後も取り組んでいく」と答弁しました。

区財政は健全です。区独自の介護職員処遇改善補助を求めます。



債権管理の方針に生活困窮者対策が位置付けられました！

「世田谷区債権管理重点プラン」（住民税や国民健康保険料の収納率を上げ、未納者を減らす計画）に、「納付相談を機会に生活困窮や多重債務者を必要な支援に繋げていく仕組みを構築する」方針が盛り込まれました。低所得者、生活困窮者への配慮が加わったことを評価します。この間、区議団が求めてきたことが動き出しました。滞納を機に生活再建までワンストップで支援できる仕組み構築を求めていきます。



高城 くにこ 2024年4・5月号
こんにちは たかじょう 訓子です！

日本共産党世田谷区議会議員 問合せ先：日本共産党区議団

〒154-0017 世田谷区世田谷4-21-27 tel:03-5432-2791 fax:03-3412-7480 携帯:090-6655-2003

祖師谷住宅の 自然環境を守れ！

祖師谷二丁目にある公社祖師谷住宅では、建替え計画が進んでいます。昨年9月に続き今年3月16日に住民説明会が開催されました。

工事期間はトータル14年で、4期に分けて工事を行う計画です。説明会では、第1期工事区域の計画のみが示されました。

内容は、現状4階建→一部9階建に。第1期工事区域の高木・中木合わせて249本の内、17本を保存し、13本を移植する。残りの219本は伐採する（低木の植栽に置き換わる）というものです。

地域住民による「祖師谷住宅・周辺住民有志の会」の皆さんからは、工事区域の樹木や、けやき並木を守ってほしい、建物の高さを抑えた計画にして欲しいなど、切実な声が寄せられています。



祖師谷住宅 第1期工事区域の建物と建物の間には桜や紅葉などがあり、土壌には下草が・・・緑豊かな環境です。このほとんどが伐採されてしまいます。



祖師谷住宅の立派なけやきの並木。暑い夏でも路面に木陰を作り涼しい空間が作られます。「道遊び」など子どものイベントも行われるシンボリックな場所

区議団主催の学習会開催

祖師谷住宅の樹木は貴重な財産

議会質問に先立ち、3月2日講師に樹木研究の第一人者である千葉大学名誉教授 藤井英二郎氏を招き、区議団主催の学習会を開催しました。居住者の方の案内のもと、藤井教授、里吉ゆみ都議とともに現地調査も行いました。

祖師谷住宅の樹木の木陰が路面や地面の温度を下げ、地域全体の気温を下げるなどの役割を果たしていること、*樹冠被覆率を高めることが、温暖化対策として世界でも注目されており、大きく育った祖師谷住宅の樹木は貴重な財産であること、樹木を守り生かすことが地域の環境保全にも重要であることを学びました。

*樹冠被覆率とは、ある土地の面積に対して枝や葉が茂っている部分（樹冠）が占める割合。



区～「(公社に対し) 合意形成に向けて誠意を持って協議する」

今議会では、①現状は建物以外は土壌となっていることから周辺にクールスポットを作りだしています。環境保全のため、建て替えにあたっては土壌部分を残すこと。

②けやき並木など既存樹木の移植を確実に進めること。

③隣接する住民からは、9階建では圧迫感がある、音や光の反射、ビル風などが心配との声が寄せられています。住民の声を聞き、住民の声を生かした計画とすることを求めました。

区は、「公社に対しグリーンインフラの整備を働きかけていく」

「樹木診断などを行い可能な限り移植することや、致し方なく伐採する場合についても、新たな植樹を行うことで、景観への影響を最小限とするよう求めていく。また、移植に向けた具体的なアドバイスも行っていく」

「公社に対し合意形成に向けて誠意を持って協議することなどをしっかり求めていく」と答弁しました。

今後、公社が祖師谷住宅の良好な住環境の保全に確実に取り組むよう、区が積極的に働きかけることを求めています。

芦花公園駅の案内板がリニューアル

地域の方から「案内板が劣化して真っ黒！改善してほしい」と声が寄せられ、この間、烏山地域振興課に対し改善を求めてきました。やっと綺麗になりました。



新しくなった案内板